

5 国際化の状況

(1) 交流等の状況

① 交流状況

ア 県の交流

- (ア) 米 国
・ジョージア州 昭和41年に姉妹盟約を締結
令和元年に姉妹盟約に係る確認書に調印
- (イ) 香 港 昭和55年から交流会議を開催（隔年）
昭和60年から県職員が駐在（ジェトロ香港センター内）
平成11年に香港かごしまクラブを設立
平成14年にかごしま香港クラブを設立
- (ロ) シンガポール 昭和57年から交流会議を開催（隔年）
平成11年にかごしまクラブシンガポールを設立
- (エ) 韓 国
・全北特別自治道 平成元年に友好協力の推進に関する共同宣言調印
平成6年から交流会議を開催（隔年）
平成11年に全羅北道かごしまクラブを設立
平成11年に第4回鹿児島県・全羅北道交流会議の開催に併せて、「友好協力の推進に関する共同宣言」調印10周年記念行事を開催
平成21年から交流協議会へ移行（隔年）
令和元年に第6回鹿児島県・全羅北道交流協議会の開催に併せて、「友好協力の推進に関する共同宣言」調印30周年記念行事を開催
令和6年に全羅北道から全北特別自治道へ名称変更
- (オ) 中 国
・江 蘇 省 平成10年から交流協議会を開催
平成20年に「鹿児島県と江蘇省の友好交流の促進に関する協議書」に調印
・上 海 平成9年から県職員が駐在（ジェトロ上海センター内）
平成22年に「社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所（鹿児島県上海事務所）」を開設
・北 京 平成25年に清華大学と包括協定（MOU）を締結
- (カ) 英 国
・ロンドン・カムデン区 平成30年に友好協定を締結
・マンチェスター市 平成30年に友好協定を締結
- (キ) ベ ト ナ ム
・ハイズオン省 令和元年に連携協定（MOU）を締結
- (ク) 台 湾
・屏 東 県 令和6年に交流協定（MOU）を締結

イ 市町村の交流

21市町が海外の30都市等と姉妹・友好盟約を締結

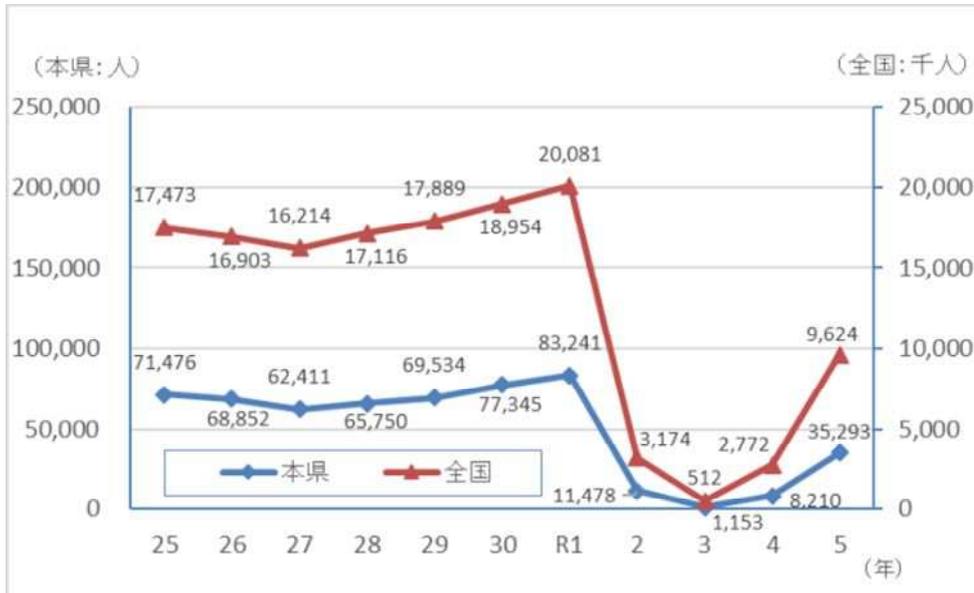
ウ 民間の交流

(ア) 公益財団法人鹿児島県国際交流協会や12市町国際交流協会の設立

(イ) 民間団体等が国際交流・協力活動を実施

② 出国者数の推移

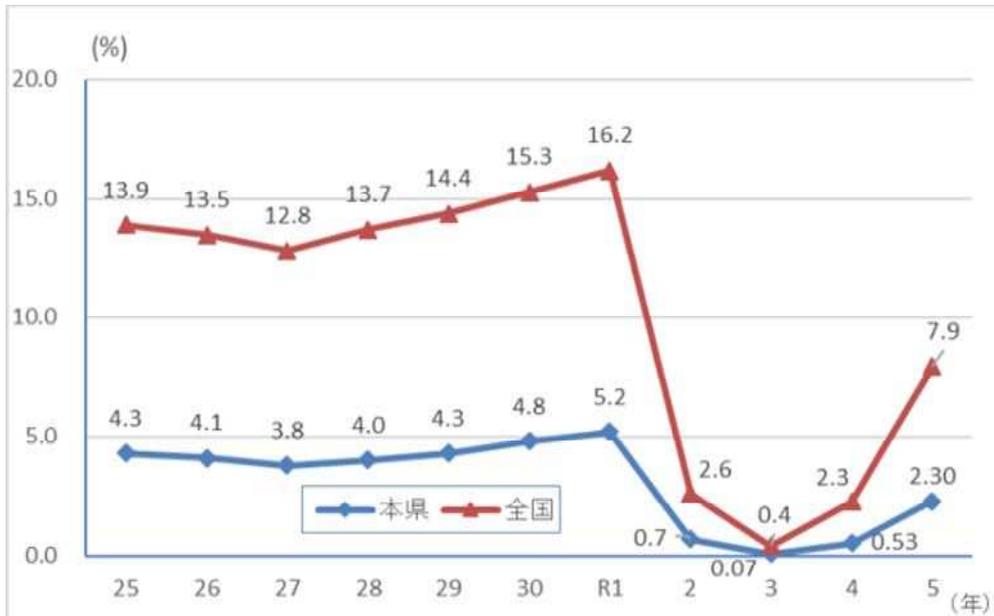
令和5年における本県の出国者数は、35,293人であり、前年に比べ27,083人増加している。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2～3年の出国者数は全国的に大幅に減少したが、令和5年は大幅に増加している。



資料：法務省「出入国管理統計年報」

③ 出国率の推移

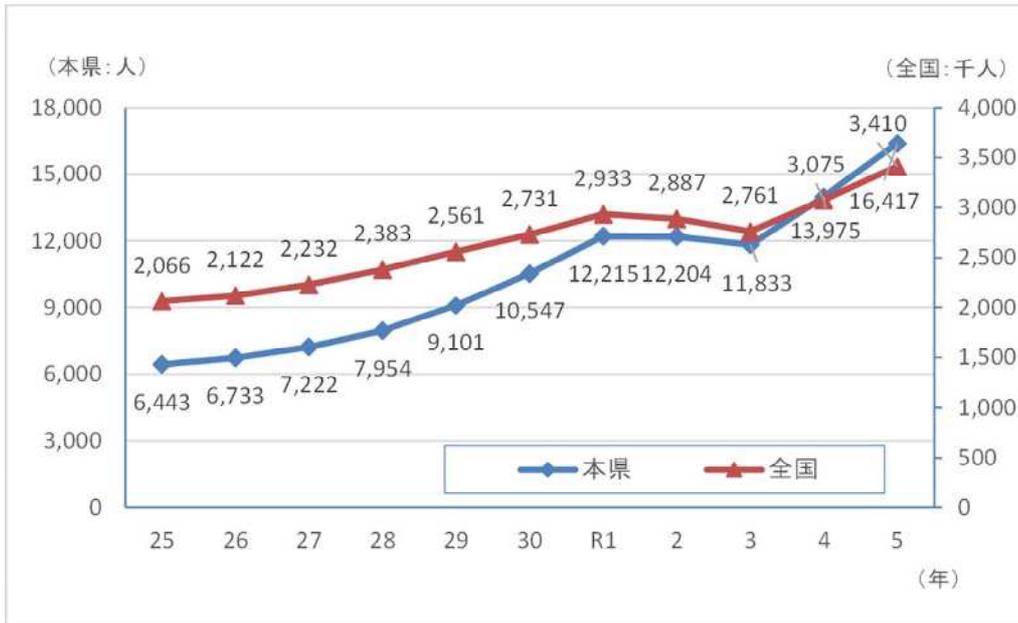
本県の出国率（人口に占める出国者数の割合）は、令和5年は全国41位の2.30%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2～3年の出国率は全国的に大幅に減少したが、令和5年は大幅に増加している。



資料：法務省「出入国管理統計年報」，総務省統計局「人口推計」

(2) 在留外国人等の状況

① 在留外国人数の推移



資料：法務省「在留外国人統計」（各年12月末現在）

② 在留外国人地域別人数の割合

全体の93.4%がアジア地域の出身者となっており、国籍別にみると、ベトナム(5,607人)が最も多く、次いでインドネシア(2,605人)、フィリピン(2,460人)、中国(1,717人)、ミャンマー(796人)となっている。



資料：法務省「在留外国人統計」（令和5年12月末現在）

③ 出身国（地域）等別留学生の状況

本県の大学等に在籍する留学生は、令和6年度は925人となっている。国（地域）等別では、中国が541人と最も多く、次いでベトナム97人、韓国60人の順となっており、全体の94.6%がアジア地域からの留学生である。

（単位：人）

国（地域）等	年度										
	H27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	
中国	229	229	229	288	332	358	314	267	560	541	
ベトナム	27	35	44	62	66	65	55	46	110	97	
韓国	48	37	38	38	55	41	40	48	62	60	
ネパール	—	—	—	—	—	20	7	5	24	43	
バングラデシュ	14	19	22	18	18	16	14	20	28	34	
台湾	29	27	27	30	35	18	4	7	17	14	
マレーシア	11	10	9	9	10	10	12	15	15	13	
インドネシア	25	19	21	19	17	11	9	17	13	12	
タイ	6	4	3	6	4	6	5	6	5	6	
フィリピン	4	5	2	3	1	2	1	2	6	3	
アジア諸国(その他)	28	26	36	40	39	14	16	20	57	52	
その他	40	41	40	22	48	25	27	31	56	50	
計	461	452	471	535	625	586	504	484	953	925	
内訳	県内在住	443	433	443	509	594	564	484	460	550	502
	県外在住	18	19	28	26	31	22	20	24	403	423

資料：観光・文化スポーツ部提供

(注) 1 各年5月1日現在

2 県外在住の数字は、鹿児島大学に籍を置きながら、他県の大学で学んでいる大学院連合農学研究科の留学生等の人数である。